

## 第3学年 「社会」

### 1. 学習の目標

#### [歴史的分野]

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊敬する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公平に判断するとともに適切に表現する態度を育てる。

#### [公民的分野]

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 国際的な相互関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

### 2. 評価の観点・方法

- |  |  |
|--|--|
| ① 社会的事象への関心・意欲・態度<br>「社会的事象に関心をもち、よりよい社会のあり方を考える。」 →                               | 授業参加態度、授業道具や提出物、発表・発言<br>定期テスト、単元テスト、課題の提出など |
| ② 社会的な思考・判断・表現<br>「社会的事象から課題を見だし、考察し、公正に判断する。」 →                                   | 発表・発言、提出物の内容、課題の内容、<br>定期テスト、単元テストなど         |
| ③ 社会的事象についての知識・技能<br>「各種の資料を効果的に活用し、その成果を適切に表現する。」<br>「社会的事象について理解し、知識を身に付けている。」 → | 提出物・レポート・課題の内容やまとめ方、<br>定期テスト、単元テスト、発表・発言など  |

### 3. 学習のポイント

- ・教科書などの基本用語（太文字）は、覚える。
- ・他の人の発言や発表はしっかり聞き、班での話し合いや発表に積極的に取り組む。
- ・ノートには、板書を写して書くだけでなく、要点が分かりやすいように工夫し、自分の気づきや調べたことも記入するようにしておく。
- ・提出物の期限は守る。
- ・調べる時は、できるだけ多く資料を集め、その中から必要な部分だけを利用する。
- ・調べたことをまとめ、レポートにする時には、テーマの設定・利用した資料・分かったこと・自分の考えを必ず入れる。また他の人が見て分かりやすいよう工夫する。
  - ・教科書をよく読んで、書いてあることを理解する。
  - ・教科書などで出てきた国名や地名は、必ず地図帳で確認する。
  - ・教科書などで出てきた人名や文化財は、必ず資料集で確認する。
- ・新聞、テレビ、雑誌などの地理・歴史に関することがらに気をつけ、地理や歴史に関する興味や関心を高める努力をする。
- ・新聞やテレビなどのニュースに気をつけ、社会に関する関心や興味をもつように努力する。
- ・基本用語は、書きながら（漢字のものは、正しく漢字で書ける）覚える。

#### 4. 学習内容と学習のねらい

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開国と近代日本の歩み</li> <li>・日清・日露戦争と近代産業</li> <li>○二度の世界大戦と日本</li> <li>・第一次世界大戦と日本</li> <li>・大正デモクラシーの時代</li> <li>・世界恐慌と日本の中国侵略</li> <li>・第二次世界大戦と日本</li> <li>○現代の日本と世界</li> <li>・戦後日本の出発</li> <li>・冷戦と日本の発展</li> <li>・新たな時代の日本と世界</li> <li>○公民学習の初めに</li> <li>○現代社会と私たち</li> <li>・現代社会の特色と私たち</li> <li>・私たちの生活と文化</li> <li>・現代社会の見方や考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○欧米諸国のアジア進出を近代革命、産業革命、アジア諸国の動きなどを通して理解する。</li> <li>○日清・日露戦争、条約改正などを基に我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。</li> <li>○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。</li> <li>○第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に、対外関係や国民の政治感覚が高まったことを理解する。</li> <li>○昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、経済の混乱から社会問題、郡部の対等、戦争の勃発から敗戦までの経過に着目して理解する。</li> <li>○戦時下の国民生活をなるべく身近に感じるとともに、戦争の惨禍にも目を向ける関心や態度を持つ。</li> <li>○第二次世界大戦後の、日本の民主化と債権、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解する。</li> <li>○高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解する。</li> <li>○国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持ち、21世紀の社会に期待を抱ける。</li> <li>○高度経済成長以降のさまざまな社会的事象の学習を通して、現代社会の成り立ちを概観し、自分が生きている現代社会の特色について気づく。</li> <li>○課題を設けて行う学習などを通して、多面的・多角的な見方・考え方ができる。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人の尊重と日本国憲法</li> <li>・人権と日本国憲法</li> <li>・人権と共生社会</li> <li>・これからの人権保障</li> <li>○現代の民主政治と社会</li> <li>・現代の民主政治</li> <li>・国の政治の仕組み</li> <li>・地方自治と私たち</li> <li>○私たちの暮らしと経済</li> <li>・消費生活と経済</li> <li>・生産と労働</li> <li>・市場経済の仕組みと金融</li> <li>・財政と国民の福祉</li> <li>・これからの経済と社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権の考えはどのように発展してきたのか、年表などを通して調べ、短文や図表にまとめる。</li> <li>○人間尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深められる。</li> <li>○日本国憲法の基本的原則を具体的な生活とのかかわりからとらえ、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として認識する。</li> <li>○作業・体験学習を通してわが国の民主政治が法にもとづいて行われていることに着目し、国民の政治参加によってよりよい民主政治が運営されていくことに気づく。</li> <li>○地方自治の基本的な考え方としくみ、国会を中心とするわが国の民主政治の考え方としくみのあらましについて、地域住民・主権者の立場から理解する。また現代政治の課題を、既習学習を活用して自らの意見をまとめることができる。</li> <li>○経済活動の意義を、身近な消費生活を通して理解する。</li> <li>○市場経済の基本的な考え方や現代の生産のしくみのあらまし、国や地方公共団体がはたしていることがらについて理解する。</li> <li>○事例を通して現実の経済に対する関心を持ち、経済についての見方や考え方の基礎を身につける。</li> <li>○様々な資料を読み取ったり、収集、選択した資料をもとに分かりやすくまとめ、表現する活動を通して、経済的な事象をとらえる見方</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地球社会と私たち</li> <li>・国際社会の仕組み</li> <li>・さまざまな国際問題</li> <li>・これからの地球社会と日本</li> <li>○より良い社会を目指して</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際社会のかかえている地球的・人類的な課題の内容と、その解決のためにどのような努力がされているか理解する。</li> <li>○現代の国際社会に対する関心を高め、さまざまな資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断し、適切に表現できる能力と態度がもてる。</li> <li>○世界平和の実現と人類の福祉の拡大のために、各国が相互に主権を尊重し、協力しあうことが重要であることが認識できる。</li> <li>○国際社会における日本の役割について考えることができる。</li> </ul>